



グローバル

NO. 111

こうのす国際交流市民の会

発行責任者 鈴木和子 Tel090-6035-3649
お問い合わせ Email hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp
発行日 2020年 3月9日(月)

今回は力作の寄稿(=紀行)が二編あります。なかなか普段は体験出来ないこと、感じないことを記して頂きました。楽しんでお読み頂ければと思います。

季節の変わり目、体調を崩しやすい時期でもありますので、皆様睡眠を充分に取りながら体調維持に努め、楽しい春を迎えましょう。



お知らせ

● こうのす国際交流市民の会 総会

総会は5月16日(日)午後2時から、市民活動センターで行います。「総会資料」は4月にお送りいたします。スケジュール調整頂いて、是非出席をお願い致します。どうしても出席出来ない方はお知り合いの運営委員へ連絡頂けると有難いです。

ご報告

● お国紹介

2月23日 市民活動センターにて開催されました。

司会の宗政さんから軽妙に“Hi, everyone. Thank you for gathering today during such a busy time.”と挨拶、英国人教師スティーブンを紹介、その後、彼の故郷 カンブリア州カーライル市の紹介がなされました。カーライルはローマ帝国の城壁都市だった風光明媚な所で、その歴史ゆえに心霊スポットでも有名な所だそうです。

わかりやすい英語でプレゼンテーションがなされ、質疑応答は、たくさんの方が、英語でなくて日本語で質問しても良いというのに英語で積極的に質問されていたのが印象的でした。

50名程の方々が参加されて盛況でした。

皆様からの寄稿

● サラエボ

サラエボ

3 月、サラエボの街の中心を流れるミリツカ川の歩道には小さな花がたくさん咲いていました。川にかかるラテン橋の近くがその事件の現場です。交差点に残っている建物は今は博物館になっており、壁には事件を物語る色褪せた白黒写真が掲示してありました。

サラエボといえば、私たちには 1984 年の冬季オリンピック、あるいはサッカーのオシム監督、ハリルホジッチ監督くらいしか思い浮かびませんが、この街ではこの 100 年、悲惨なできごとが続ききました。まるで何百年分ものたまったマグマがテロリストが発した数発の銃声を合図に一気に噴き出したような、、

まず事件から。1914 年 6 月、オースリア・ハンガリー帝国の帝位継承者フランツ・フェルディナンドは軍視察後、愛妻ゾフィーとともにラテン橋の交差点付近をパレード中に、射殺されます。翌月にはオースリア・ハンガリー帝国が事件の黒幕とみた隣国セルビアに宣戦布告をしたことにより、戦いはまたたくまにヨーロッパ中に広がり、初めての世界大戦につながっていきます。第 1 次世界大戦で



す。この戦いで 4 つの帝国がなくなるなど世界地図が大きく塗り替わります。復讐のパンチを放ったオースリア・ハンガリー帝国も大きな痛手をこうむります。1916 年フランツ・ヨーゼフがウィーンのシェンブルン宮殿で失意の中で 84 年の生涯を閉じます。ハプスブルク家の実質的な最後の皇帝となりました。

第 1 次世界大戦終了後ほどなくして、第 2 次世界大戦がはじまります。バルカン半島では 3 つのグループが覇権争いをします。チェトニク(セルビアの民族主義者)、ウスタシャ(ナチスの傀儡)、パルチザン(チトーを中心とする左派勢力)です。大戦終了後、チトーが大統領としてバルカン半島をまとめますが(1943 年ユーゴスラビア建国)、1980 年チトー没後、この国で再び紛争が勃発します。

歴史を振り返ると、395 年ローマ帝国が東西に分裂しコンスタンチノーブルに東ローマ帝国の都ができたとき、サラエボの東を北に流れドナウ川に合流するダリナ川を東西の境界にしたところから宗教上の分断が始まりました。1453 年東ローマ帝国が滅び、オスマン・トルコ帝国の支配下になるとボスニアはその属州となります。結果、ボスニアでは 3 つの宗教が混在することになりました。カトリック、東方正教会、イスラム教です。現在、サラエボの街ではそれぞれの教会を見ることができ、3 つの宗教をいただく 3 つの民族が混在しています。クロアチア人(ローマカトリック)、セルビア人(東方正教会)、ムスリム人(イスラム教)です。

さて、チトー後のサラエボ。正教徒主体のセルビア人たちは、ユーゴスラビア連邦に留まることを望んでいましたが、イスラム教徒中心のムスリム人や、ローマ・カトリック教徒主体のクロアチア人はユーゴスラビア連邦からの脱退の動きを見せます。そして内戦が勃発します(1992年ボスニア紛争)。このときのサラエボの民族構成は、セルビア人 33%、ムスリム人 44%、クロアチア人 17%でした。優位に立っていたのはセルビア人です。隣国セルビアから軍事支援を一手に受けていたからです。サラエボの街は盆地となっているためまわりから狙われやすい地形となっ



ており、ビルは破壊され町は廃虚と化しました。常に狙撃手に狙われるスナイパー通りといわれる通りもあり、市民は命の危険と隣り合わせの生活を送ったそうです。外界との通信も遮断され、エスニック・クレンジング(民族浄化)という言葉も生まれました。この言葉には強い嫌悪感を覚えますが、ボスニアヘルツェゴビナの惨状を世界に訴えるために、ボスニアヘルツェゴビナ政府に委託されたアメリカの大手PR企業が広告戦略を引き受け、制作したものです。情報戦が国連を

はじめ世界中で展開されました。ボスニア紛争は1995年に終了しましたが、死者20万、難民・避難民200万ともいわれています。

しかし、今でも1914年の暗殺をテロとみるムスリム人、クロアチア人と民族の英雄とみるセルビア人がいるように、この地域での民族間のわだかまりが消えたわけではありません。民族も宗教も人種も違う雑多な人々の行きかうサラエボの街は、民族、宗教そして平和について考えさせる大きな課題を私たちに提供しているともいえるでしょう。

【参考文献、映画】

「オシムの言葉」木村元彦、文春文庫…サラエボ紛争の中でサッカーを続けるオシムの苦悩。

「戦争広告代理店」高木徹、講談社…ボスニア紛争をめぐる国家間の情報戦の裏側を描く。

「サラエボの花」ヤスミラ・ジュバニッチ監督、映画

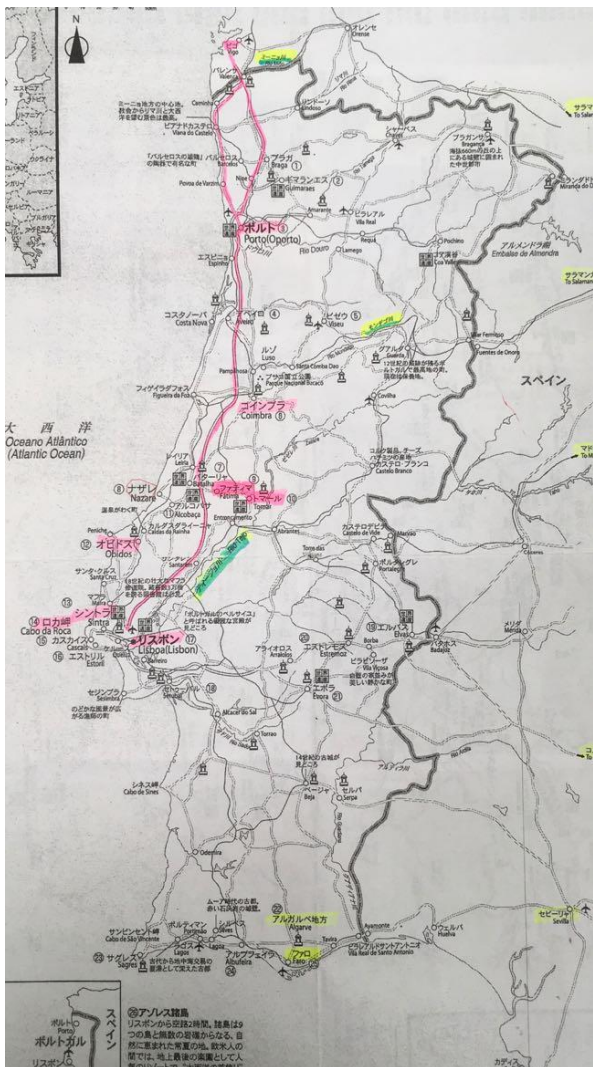
…シングルマザーのエスマにとって一人娘サラは大事な花のようなもの。サラの出生の秘密とは

● ポルトガル 遠くて近い国

M. Ochi

年明けにポルトガルへ小旅行した。リスボンからバスで北上し、国境を越えスペインに入り、世界3大巡礼地の一つとされるサンティアゴ・デ・コンポステーラを巡る、5泊7日の欲張りツアーである。訪問各地での印象を述べる。

紀行ルートは以下の写真に示す通り。ルートに沿ってノベマスと;



リスボン2泊

リスボンは7つの丘の町と云われアップダウンが激しい。中心街の大通りにはジャカランダの並木が多く見られる。花の最盛期はさぞかし奇麗であろう。海岸地区、大西洋に注ぐテージョ川の河口付近に“発見のモニュメント”がある。



エンリケ航海王子を先頭に大航海時代を象徴する著名な歴史上の人物像が列をなし、一様に海の方角を見つめる。フランシスコ・ザビエル、ヴァスコダガマ、マゼランなどその数略30。

モニュメント前の広場にはモザイクタイルで世界地図が描かれ、世界各地発見の年号が記入されている。日本が“発見された”のは、1541年とある。これは、ポルトガル船が豊後に漂着した年だそうだ。ポルトガルの黄金期を象徴するジェロニモス修道院にはヴァスコダガマが眠る石棺がある。この修道院からパステル・デ・ナタと呼ばれるエッグタルトが伝わり、近くにある発見の店とされるカフェでは大勢の客が列を作っている。



シントラの王宮

バスで山合いに進み、美しい街並みが過ぎると、霧の中に忽然とシントラの王宮が現れた。1584年、天正遣欧少年使節団が謁見したと云われる王宮のサロンが印象的であった。次に向かったロカ岬は、イベリア半島、つまり、ユーラシア大陸の最西端に位置する断崖の観光スポット。かつて詩人が、“ここで地果て、海始まる”と詠んだそうだ。崖下に臨む広大な海は絶

景、まさに地の果てである。かつてリンドバーグがニューヨークから、単身、単葉機で飛び立ち、初めてこの海を越えパリに降り立った。1927年の大西洋横断単独無着陸飛行である。思いを馳せていると突然、小雨がパラつき始め海が恐ろしい様相を呈してきた。慌てて退散する。

オビドスからトマールへ

リスボンから北へ、86 km、“谷間の真珠”と呼ばれるオビドスは、中世の城壁に囲まれた、小さな可愛い街である。ここでは、サクランボを漬け込んだリキュール、ジンジャ(Ginja)が名物。1€コインを出すとチョコレートで出来たお猪口に注がれた甘い酒が試飲できる。ほのかにサクランボが香り、甘い旨い。



昼食に立ち寄ったトマールのレストランでは陽気な店主が食後に、この酒を気前よく、ショットグラスで沢山ふるまってくれた。食後酒にピッタリである。

ほろ酔い気分で出発して付近を走ると、ファティマの標識が目に入った。聖母マリア出現の奇跡で有名な巡礼の地が近くにある。

コインブラ1泊

政治のリスボン、商業のポルト、そしてコインブラは文化の中心といわれる学生の街。通りには金平糖やコルク製品などの土産物店が目立つ。両脇に寮や下宿などが並ぶ坂道を登り切るとコイン



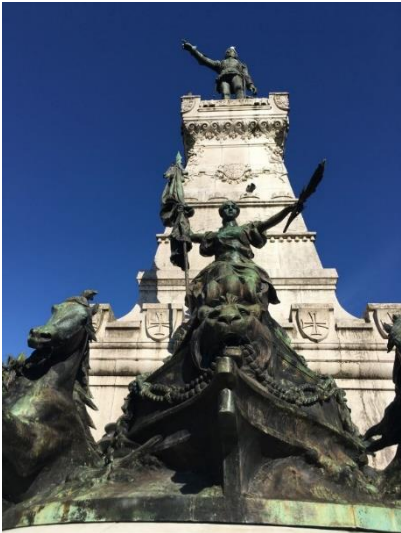
ブラ大学に辿り着く。コインブラ大学:

サラマンカやパリ大学に並ぶ名門であり、1299年にディニス王により創設されたとされる。黒いマントをまとった学生が校内を歩く姿を見かけた。ハリー・ポッターを思い出す。図書館は荘厳の一語。温度、湿度の管理に加え、虫やネズミの対策が大変らしい。

ポルト2泊

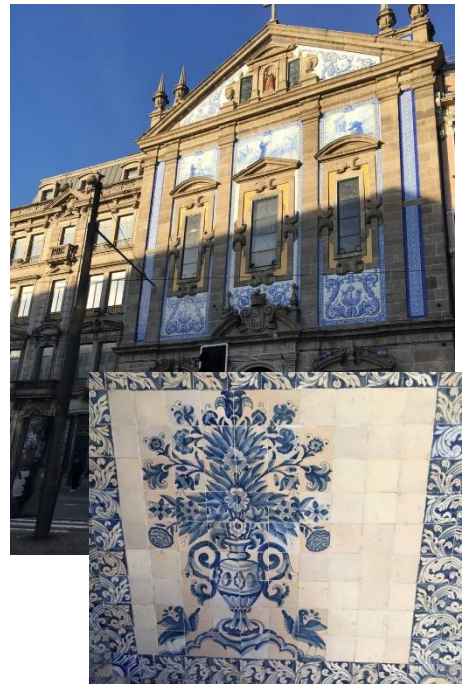
何と言ってもワインが有名である。年配の方は赤玉ポートワインを思い出されるかもしれないがパクリである。変わったところでは、ヴェルデ(verde)と呼ばれるワインが珍しい。うすく緑がかった透明色で弱い発泡性がる。さっぱりして魚料理によく合う。魚と言えば、イワシ、スズキ、タラ、タコ、などの魚介類が良く食べられるそうだ。

ポルトのブドウの苗は、中世、フランス系貴族の王侯が自国より持ちこんだという。ドウロ川の上流地区で採取されたブドウは船で川下にある醸造地区へ運ばれワインが生産される。かつて英国へ多く輸出し、多大な利益をもたらしたという。



ポルトは、また、ポルトガルの名前発祥の地とされる。1415年、エンリケ航海王子の指揮のもとに、先陣を切ってこの港から新世界へ向けての航海が始まった。ポルトガルの、輝く大航海時代の幕開けである。市内の公園に建てられた塔上の王子像は、誇らしげに右手指先を港の方向に指す。

ポルトの街並みは、中世が色濃く残っており多くの歴史的建造物が残されている。サン・ベント駅には、国の歴史を描いた青いタイル絵、アズレージョの大壁画



が景観である。

若い人に人気があるのは世界一美しいといわれる“レロ書店”だ。かつて一時期、この地に暮らしたハリイ・ポッターの作者はこの書店に着想を得たと云われる。

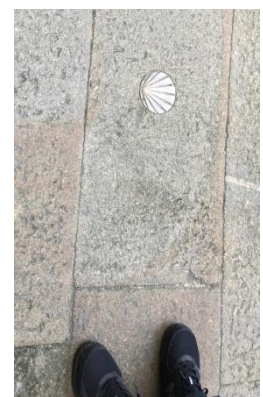


サン・ティアゴ・デ・コンポステーラ

旅の最終目的地。ポルトから北へ進み、国境のニーニョ川を渡るとスペインに入る。1時間ほど走ると目的地に着く。

ここは言わずと知れたキリスト教3大聖地の一つ、エルサレム、ローマに次ぐ。9世紀の始めに、聖ヤコブ(サンティアゴ)の墓がこの地で発見され聖堂が建てられた。以来、巡礼者の聖地となった。ピレネー山脈からスペイン北部を横断する、800 kmに及ぶルートは、カミーノ(El Camino)と呼ばれ、中世より多くの巡礼者が、同じ道を歩く。道には要所々々にホタテ貝の道標があるという。なぜホタテ貝なのか？正解は知らないが、ヤコブの帽子にホタテ貝の印があること、また、近隣の海はホタテの産地であること、等に由来するものかと想像する。ホタテ貝の“ひだ”の方向は、聖地に向けられているようだ。疲れて孤独な巡礼者はこれを見て多いに勇気づけられよう。

大聖堂に入るとあちこちに補修の櫓が目につく。来年、2021年は、7月25日が日曜日に当たる聖年となるため、11年ぶりに、聖堂裏の“聖なる



門”が開けられ大勢の参拝者が予想される。そのための準備であろうか？

聖堂の奥中央に鎮座する聖ヤコブの像が目に入る。向かって進むと、回り込んで裏から像の背後に近づけるようになっている。皆が、恐る恐る近づき背後から手を回してハグする。不信心な私もこれに習う。

参拝を終えて近くのレストランのドアを開けるとバリバリとスペイン語が響く。

そうだ、ここはスペインだ！

ビールを頼むと無いと言う。

カーニャはどうかと聞くのでそれにする。生ビールが出てきた。旨い！

バスをおりて2 kmに満たない距離を歩いての安易な参拝であった。せめて1日位は歩いてみたかった。40, 50日かけて800 kmを歩き通して到達した巡礼者の感激は如何ばかりか？

達成した人達の話を知ると、一様に、“着いた時は感激で涙が止まらなかった”と言う。



結び

昨年末、これといった予定もなく唐突に決めた今回の旅行であったが、結果的に大正解であった。帰ってきて皆さんに報告するとよく聞かれる。“何でポルトガル？”と。答えに困るが、良かったことが多い。この時期、旅行料金が安い。ヨーロッパの人たちは、冬場はあまり動かないそう。従って各地の観光スポットはどこもすいており、並ぶことなく世界遺産を見学できる。この国は、比較的安全で俗化もしていない。人々も素朴であくせくしていない。言葉も、日常的に馴染みのある単語がある。タバコ、ボタン、カステラ、パン、コンペイトウ、テンプラ、ザビエル、種子島、鉄砲伝来など、どこか懐かしい。日本と同じ海洋国でもある。魚を食べることも共通だ。

今では皆さんにお勧めしたい。“ポルトガルは穴場ですよ”と。（越智記）

語学クラスの紹介



★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）
 午後：7時～9時
 場所：中央公民館（鴻巣中学校前）
 会費：無料
 連絡先：鈴木和子 ☎09060353649
 臼田千鶴子☎08066381318

★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）
 午後 1時30分～3時30分
 場所：市民活動センター
 （鴻巣駅前 アスリエビル 3F）
 会費：無料
 皆さんの周りで、日本語に困っている方はいませんか？ ☆子ども中心ですが、大人も学んでいます。連絡先：鈴木和子090-6035-3649

★英会話サークル

授業：原則
 3月は 日、日、4月は 日、日
 講師：
 場所：市民活動センター
 会費：月額 2,000円
 連絡先： さん
 （電話）

★初歩のスペイン語クラブ

授業：原則 第2,4日曜日 午後2時～4時
 3月は8日、22日、4月は5日、19日
 講師：リリアナさん(コロンビア出身)
 場所：田間宮学習センター
 会費:月額 2,000円
 連絡先:赤井純子さん
 (代表) 080-5188-4674

★スペイン語クラブ

授業：原則として
 第1, 3土曜日 午後2時～3:45
 講師：リリアナさん(コロンビア出身)
 場所：中央公民館
 会費：月額 1,000円
 連絡先：田上有三(代表) 080-1317-5579
 学習日 3月14日、28日

スペイン語をみんなで仲良く勉強して、視野を広げ、これからの人生に役立てましょう。
 みなさんの参加をお待ちしています。

★編集後記

水田 久敏

静かにスタートした令和2年が、新型コロナウイルス感染症が世界的に広がって、俄かに騒がしくなってきました。

私達はこの様な状況下、適切な対応をすることが非常に大事だと思います。マスコミはどの局も新型コロナウイルスに関する報道を頻りに報じています。

あること、無いこと、フェイクニュース的な情報も飛び交います。難しいことかもしれませんが、正しい情報を把握し的確な行動をとることを心掛ける様にしたいものです。俄か看護師とか医師になった様な意見を吐く人もいます。一番恐いのは風評被害です。

私達は、東日本大震災以来、何回も経験している筈なのに、この種の事件・出来事から謂れない差別がなされたりするケースが見られます。行政の役割が重要で、それに期待するところ大ですが、私達自身も何が出来て、何を、誰に頼ったり、どんなことに留意すべきなのかを落ち着いて考えるべきなのかなと思います。過剰なリアクションとならない様にしたいと思います。

ところで、例年この時期流行るインフルエンザは何故流行してないのでしょうか？ コロナウイルスが防いでいる??